

■開催日：平成28年4月15日（金） 15:30-17:20

■場所：克雪管理センター

■参加人数：24名

■担当議員：榊、作井、盛多、小川、木村



笠原、阿部、山田、門田

●主な質問、意見

Q. 街路防犯灯の補助基準は一律ではないのか？

A. 補助率・上限金額は町内会の負担の少ない方を選択できる。

Q. 地域おこし協力隊員は、町の正職員になるのか？

A. 嘱託職員であり、費用は総務省負担となる。

Q. バイオマス施設の設置経緯は？

A. ほくでんから本町へ用地提供の協力依頼があり、4年間の実証実験施設。

●主な要望事項

・じゃがりん号の農村地区での運行。防災センターの推進。原発再稼働反対すべき。

⇒総務常任委員会へ

・基幹産業の農業をしっかりと育ててほしい。⇒経済建設常任委員会へ

・教職員住宅（東小学校）の改修。⇒厚生文教常任委員会へ

・統合保育所、認定こども園の送迎サービスを。⇒統合保育所特別委員会

・建設課正職員の増員並びに除雪機械センターの継続を。⇒町長へ

会場の風景

克雪管理センター

平成28年4月15日(金) 15:30-17:20



倶知安町議会『議会報告会』報告書

担当チーム	司会ほか：木村 記録：作井 予算：小川 総務：榊 厚文：作井 経建：盛多
	A班（主幹）：榊政信 作井繁樹 小川不朽 盛多勝美 木村聖子
	C班（サブ）：笠原啓仁 門田淳 阿部和則 山田勉
	オブザーバー：坂井美穂 古谷眞司 原田芳男
開催日時	平成28年4月15日（金） 15：30～17：20（約110分）
開催場所	克雪管理センター（会場使用料500円）
参加人数	24人

■主な質問

Q、除雪費は新年度予算に入っているのか？

A、約4億円、入っている。

Q、倶知安幼稚園は町立になるのか？

A、そうではない、私立のまま。

Q、未収金（未納額）は3億円？

A、そこまでの金額ではない、3千万円程度。

Q、街路防犯灯の補助基準、一律ではないのか？

A、補助率または上限金額、町内会の負担の少ない方を選択できる。

Q、厚生病院への補てん（1億4千万円）、本町の負担割合（70%）多すぎないか？

A、6町村との協議による、本町はそれなりの利益も得ている。

Q、痴呆症事業とは？

A、職員（スタッフ）などの研修費用。

Q、地域おこし協力隊は町職員？

A、町の嘱託職員、費用はすべて国費（総務省）。

Q、ふるさと納税、本町は良いが、他の自治体は過疎化に拍車がかかるのでは？

A、本町に寄付を頂くのが前提、まずは本町への寄付を増やしたい。

Q、バイオマス施設の経緯は？

A、北電から本町へ協力依頼（用地提供）、4年間の実証実験施設。

Q、給食センターの多目的化は？

A、スタートはあくまでも学校給食のみ、今後の検討課題。

Q、地方創生、人口増への具体策は？

A、花嫁対策などを更に強化する。

Q、議員報酬はあがらないの？

A、現在は減額中、まずは町民の理解が必要。

■主な要望

○じゃがりん号（デマンドバス）を農村地区にも（スピード感ある対応を）。

○防災センター（旧東陵中校舎の活用）の推進を。

○統合保育所、並びに認定子ども園の送迎サービスを。

○建設課正職員（現業）の増員、並びに除雪機械センターの継続を。

○教職員住宅（東小学校）の改修を。

○原発の再稼働に反対すべき、当事者としての意識を（もっと議論すべき）。

○基幹産業は農業、しっかり育てる心構え、本町の基本として捉えるべき。

◎今後の対応

A. 常任委員会等で調査を行う事項

- ①じゃがりん号の農村地区での運行（総務常任委員会）
- ②防災センターの推進（総務常任委員会継続調査中）
- ③保育所及びこども園の送迎（統合保育所特別委員会継続調査中）
- ④教職員住宅の改修（厚生文教常任委員会）
- ⑤原発再稼働（総務常任委員会継続調査中）
- ⑥農業をしっかりと育てる（経済建設常任委員会）

B. 町長へ町民の要望として伝える事項

- ①建設課正職員の増員並びに除雪機械センターの継続